

ラインナンバー

あらかじめランプナンバーの判明しているランプの索引用ですので、技術的及び発注には何ら関係ありません。

ランプナンバー

発注時にご利用下さい。
小型ランプに関しては、日本国内に於いても、AMERICAN NATIONAL INSTITUTE NUMBER (USASI NO. ASI NO.) を用いるようになってまいりましたので、当社でもできるだけ、採用いたしております。巻末索引に示しておりますので、ご参照下さい。但し規格に多少の相違がありますのでご注意下さい。また、ランプナンバーの後に、AS15、或いは、AS25 とあるのは、明るさが安定する迄エージングが行われた後、明るさが±15%及び±25%以内に選別されているランプを示しております。ASはAGING AND SELECTIONの意味で、明るさのパラツキを避けたい場合は、AS15のランプをご使用下さい。更に、ご要望によりAS10、AS5も可能です。

定格電圧

定格電流、明るさ、平均寿命等が得られる電圧を示します。

定格電流

ランプに定格電圧を印加した時に消費する電流値を示し、特に規定されない限り±10%の範囲にあります。

明るさ

ランプに定格電圧を印加した時に得られる明るさを示します。カタログ中、明るさの単位として次の三種類を用いておりますが、日本及びヨーロッパに於いては、通常全光束が用いられ、米国では平均球面光度が用いられております。また、レンズランプの場合は、光源の強さよりも照射された部分の明るさが重要ですので、照度を用いております。

全光束：LUMENS [Lm]
平均球面光度：MEAN SPHERICAL CANDLEPOWER [M.S.C.P.]
照度：ILLUMINANCE [Lx]

光源からは、あらゆる方向に光束が放射されておりますが、ランプ等、一般に得られる光源の各方向の光束密度は一様ではありません。また、ランプの明るさを表すために、あらゆる方向の光束密度(光度)を表示することは、實際上、不可能です。そのために、この各方向の光束密度の平均値をもってランプの明るさを表し、これを平均球面光度(M.S.C.P.)といいます。

M.S.C.Pと光源から発散される全光束である全光束との間には、次の関係があります。

$$LUMENS = 4\pi \times M.S.C.P$$

平均寿命

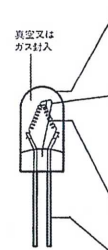
ランプに交流(50Hzまたは60Hz)の定格電圧を印加し、電圧変動±1%以内で振動、衝撃のないように厳重に管理した状態で連続点灯した場合の断線迄の平均時間であり、統計学を参考にして試料の60%が断線した時点をもって平均寿命時間としております。

直流点灯、電圧変動、振動、衝撃、点滅等悪条件が加わった場合は、寿命が短縮します。特に小電流、長寿命のランプを直流点灯した場合は、ノッチング(NOTCHING)と呼ばれる現象により、平均寿命の50%もしくはそれ以下になることもあります。

MIL規格認定ランプ

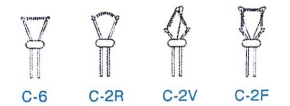
世界的に権威あるMIL規格(GENERAL SPEC. MIL-L-6363)に基づき、防衛庁による認定試験に合格しているランプです。(P-28、29参照)

ランプの構造



バルブ：当社で製造されるランプのほとんどは軟質ガラス(軟化点625℃)が使用されており、大容量の光学用ランプの一部で硬質ガラス(軟化点785℃)が使用されております。
アンカー：フィラメントの線径及び長さによっては、フィラメントの変形による短絡事故を防ぐために、モリブデン線を使用してフィラメントを支持する必要があります。また、耐衝撃性及び耐振動性を増すために使用する場合があります。
フィラメント：タングステン線をコイル状にしたもので、水素炉にて高温処理されております。
導入線：鉄・ニッケル合金の芯線に銅を被覆したジュメット線が使用されており、ワイヤー・ターミナルタイプはハンダ付を容易にするためスズメッキが施されております。ご要望により金メッキも可能です。

フィラメント形状



▶Cは単コイル、CCは二重コイルを意味します。

口金形状及び寸法(mm)

